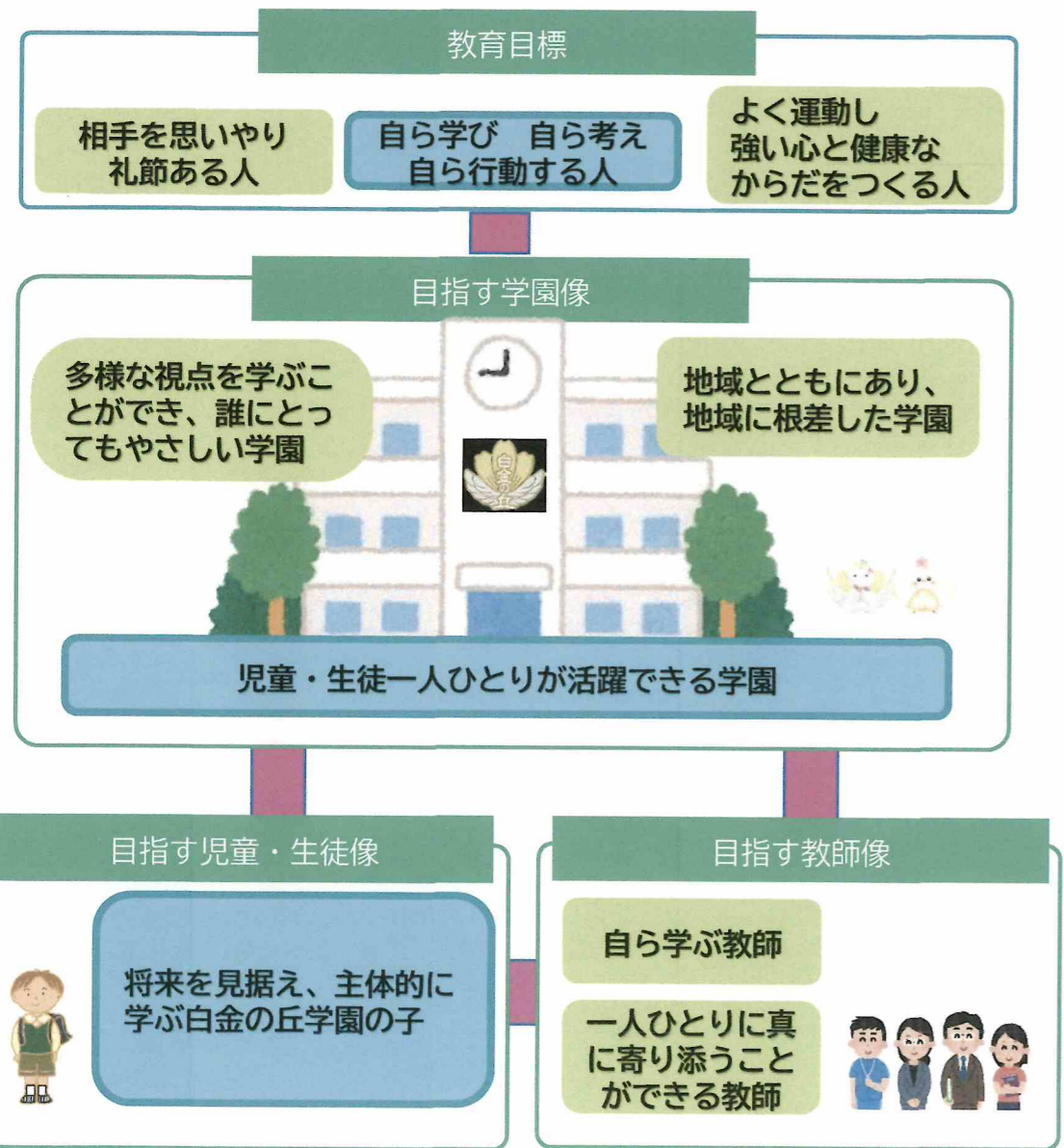


1 経営理念

港区立小中一貫教育校白金の丘学園は、本地区のこれまでの歴史や文化、伝統、地域の皆様の思いや願いを受け継ぎ、児童・生徒がこれからの時代を生き抜くために、「多様な人々と協働し、様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な未来社会を切り拓いていくための資質・能力」を学園として児童・生徒に身に付けさせるとともに、「よりよい学校教育を通して、よりよい社会を創る人間として、将来的に国際社会で活躍できる人材」を育てます。

また、港区教育大綱(素案)に掲げられている「みんながつながり『なりたい自分』になれるまち」を踏まえ、地域に根ざした教育活動を意図的・計画的に展開することで、地域とともにある学園を目指し、未来を担う、未来を託すことのできる児童・生徒の育成に努めます。

2 教育目標、目指す学園像、目指す児童・生徒像、目指す教師像



3 令和7年度の取組目標と具体的方策

教育委員会から示された取組を強化する7つの重点事業「国際理解教育の充実」「ICTを活用した学びの充実」「基礎学力・活用力の習得」「いじめ防止推進事業の充実」「健康な体づくり」「教員の働き方改革の推進」「環境教育の充実」を受け、特に取組を強化する8つの柱を立て、具体的な方策を進めていきます。

令和7年度 特に取組を強化する8つの柱(3つの重点項目)

1 「小中一貫教育校としての強みを最大限に生かした教育活動の実施」

教職員一人ひとりが「小中一貫教育校のメリット」を最大限に生かした教育活動を展開できるよう強く意識します。そのためには以下のような取組を実施します。

- 1 授業や行事の連携強化(重点項目)**
小学校・中学校共通での活動を計画的に実施するほか、開校10周年関連事業において合同で行ったり、関連して行ったりします。また、小学校・中学校それぞれの取組においても可能な限り連携します。
- 2 中学校教員による小学生への授業や小学校教員による中学生への授業の実施(重点項目)**
中学校教員による教科の専門性を生かした学習を小学校段階においても取り入れ、小学生の学び意欲を高めます。また、小学校教員による中学生への授業においては道徳を学習します。発達段階を意識した指導に努めることや多くの目で生徒を見取することを目的とし、生徒の良さを最大限伸ばしていきます。

3 「安心・安全を担保する教育活動の実施」

- 様々な教育活動を通して、児童・生徒が自分の身を守ることに当事者意識をもって、主体的に安全な行動できるよう指導していきます。
- 地域防災訓練では、児童・生徒が有事の際に自分の力で動けるような訓練を実施します。児童・生徒主体の訓練を実施します。
- 学校の教育環境と地域環境に対応した安全指導を工夫し、より実践的な避難訓練を計画・実施します。
- 月1回の避難訓練、安全指導はもとより、セーフティー教室、薬物乱用防止教室の実施とあわせて、「地域安全マップ」の定期的な点検や交通安全教室及び安全指導により、防犯・防災意識の向上を図ります。
- 熱中症や感染症、犯罪や事件・事故・災害等、不測の事態に組織的に対応し、保護者・地域、関係諸機関に的確な情報を発信します。

5 「特色ある教育活動の充実」

～学校運営協議会並びに「おかさポ」と連携した教育活動の実施～

- 学校運営協議会並びに地域学校協働活動(おかさポ)やPTAと連携して、教員や児童・生徒のサポートをいただきながら、特色ある教育活動を展開します。
- これまで培った各企業・団体とのネットワークや家庭・地域との連携を生かした体験的な活動を、「学校2020レガシー」として継続・発展していきます。
- 大学企業と連携した、SDGsについての系統的な取組を通して、環境保全の意識を高め、将来の持続可能な社会の創り手となる児童・生徒を育成します。
- ピオトーププロジェクトの活用を通して、理科教育・環境教育の充実や保幼・小中の連携を深める空間に位置付けます。
- 開校10周年式典や記念行事開催に向けて、意図的・計画的に準備を進め、学校運営協議会や地域との連携をより一層深めます。

7 「不登校の児童・生徒に対して、心に寄り添った指導を行っていきます。」

4 中期的目標と具体的方策(令和7年度から9年度)

- 児童・生徒一人ひとりが活躍できる学園を実現
- 地域・保護者から愛され信頼される学園づくり
- 9年間の成長を見通した質の高い教育活動の推進
- 組織的に資質・能力を高め合う教員集団の育成
- 人口推計を踏まえた教育活動

2 「児童・生徒一人ひとりが学ぶ意欲をもち、学習活動に取り組む姿勢を育む環境づくり」

- 1 国際理解教育のさらなる充実**
国際科(小)・英語科国際(中)の計画をさらに充実させます。
(1)各学年が、国際理解教育に関する必ずどこかの機関や団体との連携、交流について計画します。
(2)シンガポール修学旅行を契機とした学習を実施します。
(3)メトロラーニング(小学校)やインタビュー活動(中学校)を取り入れた内容の設定をします。
- 2 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させた複線型授業の実施 (ICTを活用した学びの充実)**
(1)「複線型授業 CHALLENGE DAY」を設定し、学びの充実を図ります。
(2)「MINATO×ICT DAY」の設定し、保護者・地域への周知を図ります。
- 3 基礎学力・活用力の習得**
(1)小学校全学年における教科担任制と第1学年のプレクラス制度を活用します。
(2)全国学力・学習状況調査、CBT調査の結果分析を踏まえた授業づくりに努めます。
(3)少人数指導や教科担任制に授業を各課的に取り入れ、児童・生徒の学力の向上に努めます。
(4)漢字検定・英語検定・数学検定を活用し、児童・生徒一人ひとりに年間の目標を明確に持たせ、目標達成に向けて学習に取り組ませます。
- 4 9年間の系統立てたキャリア教育の実施(重点項目)**
国際人として活躍するために、自己実現し、社会の仕組みを学ぶ系統立てたキャリア教育の計画を策定します。各学年ごとにメインの取組を設定します。さらに、内容の設定はもとより、身につけさせたい技能も明確にします。(プレゼンテーション、情報発信(ホームページの開設)、クラウドファンディング、起業など)
- 5 集中力を持続するための体力向上**
体力テストの結果をうけ、総合的に体力向上に努める取組を実施します。

4 「生活指導～規範教育の励行による予防的な生活指導の実践～」

- 「白金の丘スタンダード」(小学校)と「白金の丘学園校則」(中学校)を発達段階を踏まえ、発展的統合を図ることで、小中一貫教育校として系統立てた指導を実施します。
- 生活指導重点項目を設定し、児童・生徒に意識付けさせます。
- 学園朝会を月に1度設定します。1年生から9年生までの全児童・生徒が一堂に会し、全校での朝会を行うことで、集団としての所属意識を高めるとともに、他学年に対しての気配りの心等を育成します。

6 「偏見や差別、いじめは絶対に許されないという風土づくりの徹底」

- 定期的なアンケート調査と校内委員会(随時開催)を中心に、いじめの早期発見に重点を置き、「予見・早期発見・早期解決」に向け組織的に対応し、「偏見、差別、いじめをしない、させない、見過ごさない」を具現化します。
- 「正しいことば遣い」の励行を教職員自ら徹底し、児童・生徒に手本となるよう指導していきます。
- SC(都・区)、SSW、養護教諭を中心に、子育て相談や子供の悩み等のカウンセリングを通して、児童・生徒、保護者に寄り添う教育相談体制を充実させていきます。

8 特別支援教育の推進 「自立を促し、小集団での学びを深め、集団適応能力の伸長を目指します。」

5 教員の働き方改革の推進

- 定時退勤の推進及び年次有給休暇20日の取得の徹底
- 会議の精選と効率的な業務遂行